

## 鉄構海洋事業特集の発刊にあたって



取締役 鉄構海洋事業部長  
福田 和彦

鉄構海洋事業部は、昭和45年の鉄構事業部、鉄構開発部から、昭和49年に現在の事業部に拡大、強化され、今日に至るまで20数年、国内外の国土開発分野、資源・エネルギー分野において、社会のニーズに応えた幅広い事業活動を展開しております。

平成4年度は、本社、支店を含めた約860名の陣容で、売上高で約1700億円を達成するなど、当社複合経営の先駆ともいえるエンジニアリング部門の一翼を担う事業部として成長し、その責任を一層強く感じております。

私共の事業分野は、海洋・沿岸構造物、橋梁・ケーブルなどの「鋼構造物」、石油・天然ガス配管、原子力・火力発電所の循環水配管、水道用配管などの「パイプライン」、LNG受入・払出プラント、地域冷暖房、地熱発電、水処理・汚泥処理設備などの「エネルギー・環境プラント」、土地造成をはじめとした「総合土木」と、実に多岐にわたっております。そして、これらの事業を支えるのは、製鉄事業の中で培ってきた土木技術、鋼材利用技術を基礎に、豊富なプロジェクト経験と技術開発・研究開発力が育てた総合エンジニアリング力といえます。

今後とも、高度化、複合化する国内外のユーザー、社会の要請に対し、鉄の特性を生かした新商品・工法の開発を進め、素材を含めた一貫管理、大プレファブ化、ハイブリット化、急速施工法の拡大など「環境にやさしい商品・施工法」の提供を通じて応えていきたいと考えております。そのためには、鉄海の伝統である旺盛なチャレンジ精神を忘れず、全員が営業マンであるという起業家精神と、技術の専門性向上が次なる差別化技術、商品、工法の開発に結びつくとの自覚を持ち、「新たな飛躍に向けて革新的挑戦」を続けていく所存でございます。

本特集では、私共の事業内容、開発成果の一端をご紹介させていただきますが、今後も皆様方には、一層のご支援とご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。